



## 「くらしの時間」を豊かにする「弁当の日」

校長 井之上 良一

梅雨入りを間近に控え、風薫るすがすがしい季節も終わりが近づいてきました。例年であれば、各種の行事や行楽でにぎわいを見せる頃ですが、今年は新型コロナウイルス対策のために自粛を余儀なくされる五月となってしまいました。

中国から流行が始まった新型コロナウイルス感染症はまたたく間に世界に拡大し、医療の危機にとどまらず社会・経済活動の面においても今なお深刻な影響を与え続けています。最近では、「コロナ禍」や「with (ウィズ) コロナ」といった言葉も耳にするようになりました。第2波・第3波を経なければ収束に至るのは難しいという見方は、衆目の一致するところであり、今後とも長期にわたり、臨時的かつ柔軟な対応が求められていくものと思います。

子どもたちの命と健康を守り、感染拡大を防止する観点から、学校では、すでに二度にわたる臨時休校が実施されました。その際は、保護者の皆様方にも多大な御心配や御負担をおかけすることになってしまいました。家庭学習の支援が必ずしも十分とはいかず、行き届かない面も多々あったかと存じますが、御理解と御協力をいただき心から感謝しております。

さて、そうした中、教育の世界では、旧来の教育の在り方を問い直すとする議論が活発化しています。話題の中心は、授業の遅れを取り戻すことと国際化への対応がセットになった「9月入学」への移行や、「オンライン授業(インターネットに接続されたパソコンなどを活用した遠隔授業)」の導入が占めているようです。



「9月入学」の議論はさておき、オンライン授業をめぐるのは、日本の学校では実施率が低いこともあって、その後進性を指摘する声が多いように思われます。しかし、単に実施率が低いということであれば、今後ハード面、ソフト面からICT環境を充実させれば、問題の解決はさして難しくはないはずです。折しも、従前の整備計画を前倒して、今年度中には全国のすべての小中学生を対象にパソコンやタブレットなどの端末が一人一台配備されることになりました。今後は、休業中におけるオンラインによる授業の実施も射程に入ってくるものと思われます。



ところで、最近では、児童生徒が獲得すべき能力は、「<sup>にんち</sup>認知能力」と「<sup>ひにんち</sup>非認知能力」の二つに大別して説明されることが多くなってきました。前者は、学力テストなどで測定することができる知識や技能等のことであり、後者は、誠実さや忍耐力、自分に対する肯定感、リーダーシップ、コミュニケーション能力などを指します。

後者は、その有無や大小によって、仕事の成果や人生の行方に影響を与える気質や性格、対人能力とも言えます。

2000年にノーベル経済学賞を受賞したアメリカのヘックマン博士は、「非認知能力」が人生全体を左右する重要なものであることを明らかにしました。また、日本のデータを用いた研究では、リクルートワークス研究所が中・高校生の時に培われた勤勉性や協調性、リーダーシップなどが、その人の学歴、雇用、収入に影響することを明らかにしています。

「認知能力」と「非認知能力」、いずれが重要かと問われれば、両方の重要性を認めた上で、今後は「非認知能力」の重みが一層増していくのではないかと考えています。なぜなら、情報化社会の進展や社会構造の変化に伴って、自然や実物と触れ合うなど、子どもたちが価値ある経験をする機会が以前と比べて減少しているからに他なりません。

このような状況に危機感を持ち、子どもたちに真に「生きる力」を育むことを目的に、「子どもが作る弁当の日」を始めた人がいます。香川県の小・中学校で教諭や校長を務められた竹下和男という先生です。竹下先生は、本来、「くらしの時間」が豊かにあって生活力が広く形作られ、「あそびの時間」を通して社会性が育まれ、「学びの時間」を通して習得される知識や技能も確かなものになっていくという考えを持っておられました。そこで、「くらしの時間」を経験的に学ばせるために、家庭の協力を得て、子どもが一人で弁当作りに挑戦する「弁当の日」を実践されました。



この実践の記録は、多くの教育関係者や保護者の共感を呼び、「食べ物『命』や育てる人とも出会う『弁当作り』は子供達の心の扉も開いた。」、「たくさんの懸念を吹き飛ばして『弁当の日』は家庭と地域にもあたたかい波紋を広げた。」などの称賛の声とともに、「地域に根ざした食育コンクール」で全国最優秀賞を受賞しました。なるほど、台所の知恵や工夫が学べるだけでなく子どもたちの自立につながる優れた実践であると思います。その後、この実践は多くの学校で取り入れられ、今や全国約2,000もの小・中学校で取組が展開されています。

本校においても、今年度10月を目途として、学校の農園(畑)で収穫できる食材も生かしながら「弁当の日」の活動に取り組んでいきたいと考えています。今後、保護者の皆様方には、家庭教育学級などを通して、具体的な取組の説明や実践例の紹介を行うとともに、生徒たちに対しましては、全校朝会などを活用しながら説明や意欲付けを行っていききたいと考えています。

機会をとらえて食卓や台所に対する関心を高めさせるなど、今後の御家庭での御支援と御協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 栽培活動 5/8

今年度、総合的な学習の時間を使って栽培活動を行っています。第1回目の今回は、学校長より栽培活動の目的等の説明があり、その後学校主事からアドバイスを受けてサルビア・マリーゴールド・千日紅の種をまきました。今回は種から花を育てます。

ふかふかの土に慎重に種をまき、水をかけました。発芽するためには3つの要素(空気・温度・水分)が必要です。どの学年も毎日の水かけを頑張っており、すぐに発芽が始まりました。順調に育つと良いですね。



## 紫陽花植樹 5/22

土橋地区公民館長の柿内さんをお招きし、土橋を美しく活気のある里にする取組の一つとして、紫陽花の植樹に取り組んでいること、5年間で1000本植樹したことなどを説明していただき、体育館を暗くしてホタルが光る様子も見せてもらいました。

その後、地域の人たちに手伝っていただきながら各自2本ずつ紫陽花を植樹しました。みんなで植えた紫陽花、素敵なお花を咲かすことでしょう。

### 【子どもたちの感想】

『紫陽花の色は、土の性質で変わることが初めて知りました。紫陽花は水が大事と聞いたので水やりを頑張ります。青色のきれいな花が咲くのが楽しみです』『ホタルがちゃんと光ったのを見て感動しました。毎日、水やりをしっかりと綺麗な花が咲くのを楽しみに待ちたいです。』



## 生徒総会 5/14

昨年度後期の活動反省と今年度前期の活動計画について話し合う生徒総会が実施されました。今年度は臨時休校の関係で、準備の時間が十分にとれない状況でしたが、生徒会役員の頑張りで充実した質疑応答・意見交換を行うことができました。

分からないことを積極的に質問した1年生、中堅学年として司会など運営に意欲的に携わっていた2年生、めざす生徒会像を具体的に説明してくれた3年生、それぞれが十二分に役割を果たしていました。皆で協力し、生徒会活動をさらに盛り上げてほしいです。



一 夜九時以降は使わない。  
 二 保護者のいる場所で使う。(自室に持ち込まない)  
 三 うわさ話や人を傷つけることを書かない。  
 四 ルールを破ったら( )日間使用しない。

土橋中学校  
 ネットワーク  
 利用における  
 PTA共通実践  
 ルール

日	曜	6月の主な行事予定
1	月	おひさまあいさつの日
2	火	第2回PTA評議員会
3	水	スクールカウンセラー来校(午後) 教育相談(2, 3年生)
10	水	巡回文庫
13	土	土曜授業 引き渡し訓練 家庭教育学級開講式(3校時)
17	水	2・3年高校説明会(公立)
23	火	2・3年高校説明会(私立)
24	水	巡回文庫
25	木	学級専門部会 保健タイム
26	金	学校専門部会
29	月	代議員会
30	火	期末テスト(~7月2日)

**【PTA会員の皆様へのお知らせ】**

- 「おひさまあいさつの日」運動は実施されませんが、昨年度末の評議委員会で、会員の負担軽減のためPTA会員による「おひさまあいさつ運動」の参加はなくそうという結論になりました。したがって今年度からの参加・記録の記入等はありませんので御承知おきください。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため地区総体が7月に延期の予定です。また、感染予防に万全を期すため『開閉会式中止・無観客試合』とすることになりました。試合等の観戦は控えていただきますので御理解・御協力よろしくお願いします。
- 引き渡し訓練時に、「家庭教育学級開講式」を開催します。御多用のことと存じますが、御参加をよろしくお願いいたします。